



# たたら純一 活動報告

2期 Vol.4



純ちゃん

## 魅力ある宇佐市へ

日頃より議員活動への御支援、御理解を頂き誠に有難う御座います。新型コロナウイルスの影響により、小中学校の臨時休業や様々なイベントが自粛・中止・延期となっておりますが感染拡大防止の為、感染症対策と健康管理に十分に気を付けて頂きたいと思っております。この事態に対し早期に終息宣言が出されることをお祈りします。宇佐市人口ビジョンの「2024年将来計画人口 53,000人」とありますが、令和2年2月2日現在で総人口 53,666人となっております、このまま行くと来年の1月には 53,000人を下回るのではないかと思っております。「自然増減」の出生や「社会増減」の転入施策に、今後更なる活動を推進していく必要があると考えます。



## 議会報告

3月定例会は2月18日に開会し、令和元年度宇佐市一般会計補正予算(第5号)など13議案と、条例の改定など13議案、第二次宇佐市総合計画「後期基本計画」の策定と指定管理者の指定2議案を市長から提案され、全議案を可決致しました。

その中の令和元年度宇佐市一般会計補正予算(第5号)についてはTPP対策に関連した農業生産基盤整備事業や都市計画道路事業、学校ICT化対策事業をはじめ、国土強靱化に伴う道路の長寿命化対策や、ため池等緊急整備事業など国の補正予算に伴う事業費を計上、各種事業費の確定による所要の調整を行うものです。また後年度の財政負担を考慮し、財政調整基金や特定目的基金の戻し入れなどの調整を行うものであります。閉会日の追加議案、令和元年度宇佐市一般会計補正予算(第6号)は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急措置として小学校の臨時休業による放課後児童クラブの開所時間延長や感染予防に関する予算を計上し、中小企業に対する運転資金の融資に係る利子補助について債務負担行為を追加した。その他詳細は議会報・宇佐市ホームページ掲載を御覧ください。

### 増額分 <地方創生関連> 「予算額」

- ・産地パワーアップ事業 ・ 235,723千円(増額)
- ・県営土地改良関連事業負担金 ・ 77,600千円
- ・都市計画道路上田四日市線整備事業 ・ 20,000千円
- ・社会資本整備総合交付金事業 ・ 44,000千円
- ・校内通信ネットワーク整備事業 ・ 61,600千円

### <追加>

- ・保育対策総合支援事業 ・ 14,000千円
- ・放課後児童健全育成事業 ・ 25,500千円

### 減額分

- ・保育所措置費 ・ 99,905千円
- ・防災システム整備事業 ・ 97,897千円

### <感染拡大に伴う緊急措置>

#### 小学校等臨時休業・感染予防対策

##### ○保育対策総合支援事業

保育所等における感染予防を図るため、国の財政措置を活用し、消毒液、空気清浄機などの必要品等に対し支援する。



##### ○放課後児童健全育成事業

小学校の臨時休業に伴い学童の開所時間延長及び人材確保対策として、国の財政措置を活用し追加の運営経費や予防対策に必要な物品の購入について支援する。

### <タブレット導入による会議>



業務効率化と経費削減に向けて、タブレット導入の為に先進地視察等行い準備を進めて来ました。3月議会から常任委員会で初となるタブレットを使って議案の説明があり、大変便利でした。全員が使いこなすのにもう少し、時間がかかりそうです。

## 諸活動!

### <穴凹見つけたら連絡下さい>



今回、市民の方から豊前善光寺駅付近に大きな穴凹があると御相談があり、市の土木課にお願いし補修して頂きました。また、自分で気が付いたところは補修していますが、危険箇所がありましたらご連絡ください。

# 3月一般質問概要

## 更なる人口減少対策について

### 1. 施政方針の人口減少について

- ・本年度の移住状況はこれまでどの様に推移しているか又、今後更なる移住拡大に向けた取り組みは検討されているか

<答弁>本年度は1月末現在80人。特に子育て世帯の移住者に対する支援として県外移住者については新築購入補助金の上限、中古住宅購入補助金の上限を拡充。市外移住者についても新築購入、中古住宅購入に対しての補助金を新設していく。

- ・UIJターン奨学金支援返還制度はある一定効果は出ているか又、他県にどの様に発信しているのか伺います

<答弁>今年度は現在のところ17名の申請を受けており、今後、県内外の大学等への情報提供など積極的な周知に努める。

- ・3子以降の更なる出産支援が必要と考えるが市はどの様に考えているか

<答弁>出産と子どもの成長の節目に祝金を送っており、県と自治体で実施している「おおいた子育てほっとクーポン」事業で本年度より子どもの数に1万円乗ずることとしており子どもの数が多いほど助成拡大を行っている。来年度からは産後ケアの実施や子育て世代包括支援センターを設置する事で妊娠・出産から子育て期まで安心して子育てしやすい環境を整えていく。



### 2. 田舎暮らしの「住みたい田舎ベストランキング」について

- ・総合部門では2020年度版「宇佐市22位」の評価はどのように捉えているか

<答弁>10万人未満の539自治体中、トータルで見ればトップクラスと認識しており、今後とも移住者を増やしていく施策に取り組み、更に上位を目指していく。

### 3. 急性感染症について

- ・新型コロナウイルス感染症の対策はどの様に考えているか

<答弁>国や県が示す感染情報や対策の動向を注視しながら県北部保健所や宇佐市医師会、関係機関と連携し、情報収集すると共に市民や学校、福祉施設等へ情報提供に努める。2/26に市として新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、市主催の屋内行事については当分の間、原則として延期または中止するなど市の基本方針として決定した。

- ・市内の子どもインフルエンザ予防接種率はどの様に推移しているか

<答弁>昨年度41.7%から本年度12月末現在で43%となっており、既に昨年を上回っている状況です。

### 4. チャイルドシートの助成金や貸し出し制度について

- ・県下の助成金や貸し出し制度はどの様な状況か

<答弁>購入費助成は九重町と国東市で実施しており、貸出制度は玖珠町と豊後高田市で行っている。

- ・不要になったチャイルドシートを回収し、リユース(再使用)してはどうか

<答弁>保護者のニーズ等総合的に判断し、平成28年度から出産、小・中学校入学祝金を支給する「すくすく子育て祝金事業」にて保護者の経済的な負担軽減に努めている。

### 5. 多文化共生について

- ・多文化共生の取り組みに於いて他市に負けない支援策はあるか伺います

<答弁>先行して地域文化への理解や語学力向上支援などの取り組みをスタートさせており、地域コミュニティの一員として共に生活していける社会の実現に向けて各種取組を進めて行く。

- ・外国人の家族呼び寄せ等の優遇措置はあるか

<答弁>国の動向を注視しながら現在在住している外国人住民の方が地域社会の構成員として共に暮らしていく為の支援策を検討する。



たたら純一ホームページ  
スマホ版も見易くなりました。  
(You tubeも見れます)



たたら 純一 検索